

私の旅した ボーダー 世界の国境

報告：狩野正一郎 (ラ・サール学園)

世界の激動をその目で見て歩いてこられた狩野正一郎さんに、時代を超えた国境 (ボーダー) の話を自在にお願いしています。冷戦時代の東ヨーロッパ、フランコ時代のスペイン、サハリン沖でソ連軍に撃墜された大韓航空機撃墜事件、イスラエルのヨルダン西岸にまつわるエピソードや体験をお話しいただく予定です。

司会：岩下明裕 (北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター)

2021年5月30日(日) 16時-17時30分

報告者プロフィール

狩野正一郎(かのう・せいいちろう)

1943年、佐賀に生まれるも東京育ち。早稲田大学教育学部地理歴史学科を卒業後、1968年からラ・サール学園社会科教諭(地理)として教鞭にたつ。授業の合間をぬって世界を旅し登山にいそしむ。訪問国は50カ国に及ぶ。特に印象に残っている経験は、死海で浮かび、74歳でキリマンジャロに登頂したこと。



参加方法 下記アドレスにて参加登録をお願いします。
登録後に Zoom ウェビナーへの接続アドレスをお送りします。
https://zoom.us/webinar/register/WN_5aBMuNerSVe1Deg07e69fg
※ZOOMを使用したオンライン会議です。インターネット環境とPC、スマホ、タブレット等があればご自宅やオフィスからお気軽にご視聴いただけます。参加費無料。



参加登録フォーム

主催：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

共催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター境界研究ユニット (UBRJ)

協力：人間文化研究機構ネットワーク型基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究推進事業」
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター拠点 (NoA-SRC)

お問い合わせ：join_us@slav.hokudai.ac.jp(担当・岩下)

